



朝十小だより

朝霞市立朝霞第十小学校

令和5年 3月号

〒351-0023

朝霞市大字溝沼828-1

TEL 048-469-5443

在籍児童数 726名

学校教育目標 意欲ある子・考える子・健やかな子

～ 豊かな学びで楽しさと笑顔あふれる朝霞十小 ～

ありがとう 6年生

校長 岩崎 英雄

3月になると、二十四節季の「啓蟄」(けいちつ)を迎えます。啓蟄とは、「冬ごもりをしていた虫たちが土の中から出てくる頃」という意味で、春の気配を感じて、冬ごもりをしていた虫たちが活動を開始する頃を表しています。暦の通り、暖かいなど感じる日も増え、校内の木々も春の準備が進み、春はもう目の前までできています。

おかげさまで、2月もコロナやインフルエンザ等による影響もなく、予定通りに行事を行うことができました。特に盛り上がったのは、体育朝会での長縄(8の字跳び)です。各学級で目標をもちながら、休み時間や体育の時間に練習してきました。私も1月から練習の様子を見ていましたが、練習を始めたばかりの頃は、縄に飛び込むタイミングがわからずに躊躇していた子も、日が経つにつれて、スムーズに跳べるようになり、着実に回数も増えてきました。短縄とは違い、長縄はクラスで挑戦することから、



体育朝会での長縄

プレッシャーを感じてしまうこともあります。その分、頑張る気持ちが増して、連続して跳べたときの喜びは格別だと思います。新記録が出て、大喜びしている子供たちを見ていると、こちらも嬉しくなります。



国会議事堂の見学

また、2月15日には6年生の社会科見学がありました。振り返ると、昨年5月の修学旅行を皮切りに十小の校外学習がスタートしましたが、最後の

締めくくりも6年生となりました。当日は、冷たい風の中でしたが、霞ヶ関の官庁街をバスで周りながら国会議事堂と科学技術館を見学しました。特に国会議事堂は、子供たちにとって普段、テレビや教科書でしか見られない「別世界」と思われる場所ですが、長い階段を上り、本会議場の傍聴席に足を踏み入れたときは、歴史の重みや雰囲気を感じ、緊張した顔をしながら、監視さん(警備や案内をする人)の説明をしっかりと聞いていたのが印象的でした。これから国会のニュースを見るときは、今までとは違った気持ちで見てくれるのではないのでしょうか。

そして、20日から22日の3日間で行われた、授業参観・懇談会には、たくさんの保護者の皆さまに来校していただき、ありがとうございました。どの学級も真剣に授業に取り組んでいる子供たちの様子を御覧いただ



6年生から5年生へ 児童会引継ぎ式

けたと思います。ここでも、6年生は総合学習の集大成として、「未来に向かって」と題して、興味関心のある職業について調べたことを友達や保護者にプレゼンする授業が行われました。体育館をいくつかのブースに分け、同種の職業を調べたグループごとに、タブレットや画用紙等を使いながら、丁寧に調べてきた内容をわかりやすく説明する姿に、私も保護者の皆さんも感心しながら聞き入り、大きな成長を感じました。そんな6年生も、あと少しで朝霞十小を巣立っていきます。「あいさつ運動」をはじめとして、これまで、さまざまな場面で中心となって活躍してくれた6年生には感謝の気持ちでいっぱいです。残りの小学校生活も充実した毎日を過ごしてほしいとともに、1年生から5年生も6年生のバトンを引き継ぎながら、次の学年への準備をしっかりしてほしいと願っています。